

安全上のご注意

—はじめにお読みください。—

警告

本機はDC12V マイナスアース車専用です。



・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

配線作業中は、バッテリーの端子のコードを外す。



・ショート事故による感電やけが、火災の原因となります。

電源リード線の被覆を切って、他の機器の電源コードを接続することは絶対にしない。



・リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所やステアリング、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転操作を妨げるなど運転に支障をきたす場所に危険を及ぼす場所には取り付けない。



・交通事故やけがの原因となります。

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。



・交通事故や火災の原因となります。

取り付けやアース線を接続する場合は、ステアリング、ブレーキ系統、またはタンクなどの保安部品のビスは絶対に使用しない。



・これらを使用しますと制動不能や発火・事故の原因となります。

エアバックのカバー部分や作動の妨げになる場所に、絶対に取り付けない。



・エアバックが正常に動作しなかったり、動作したエアバックで本機や部品が飛ばされ、事故やけがの原因になります。

注意

本機の取り付けや取り外し・配線には、専門技術と経験が必要です。



・安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。
・場合によっては、本機が熱くなることがありますので火傷やけがに十分ご注意ください。

必ず付属の部品を指定通り使用する。



・指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品をいためたり、しっかりと固定できず外れたりして事故やけがの原因となることがあります。

雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気やほこりの多いところへの取り付けは避ける。



・本機に水や湿気、ほこりが混入しますと発煙や発火・故障の原因となります。

本機を不安定なところに取り付けない。



・正しい設置を行わないと、事故や故障の原因となることがあります。

振動の多いところなど、しっかりと固定できないところへの取り付けは避ける。



・外れて事故やけがの原因となります。

正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。



・接続が終わったら車のブレーキランプ、ホーンなどが正しく動作することを確認してください。

車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意する。



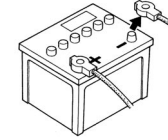
・断線やショートにより、事故・感電・火災・故障の原因となることがあります。

取付説明書(KW-MC34)

JVC

取り付ける前に

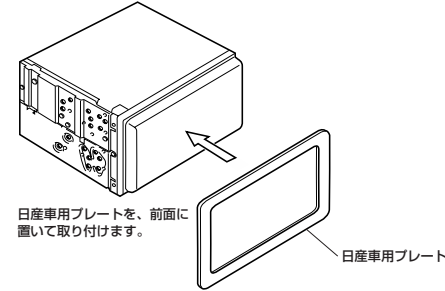
・作業中のショート事故防止のため、必ずバッテリーの端子のコードを外しておいてください。



・安全運転のため運転の妨げにならないところに、また本機の放熱効果が十分発揮されるようなところに取り付けてください。
・取り付け前に仮接続をして本機が正しく動作するか確認してください。

・取り付けは必ず付属の部品(ネジなど)を指定通り使用し、しっかりと固定してください。指定以外の部品を使用しますと内部の部品がこわれたり、ゆるんで外れたりすることがあります。

・日産車に取り付ける場合



日産専用プレートを、前面に置いて取り付けます。

日産専用プレート

・車体やねじ部分、シートレール等の可動部に配線をはさみ込まないよう注意してください。

取り付け方法

1. 純正のオーディオを外す
4. 車両に固定する

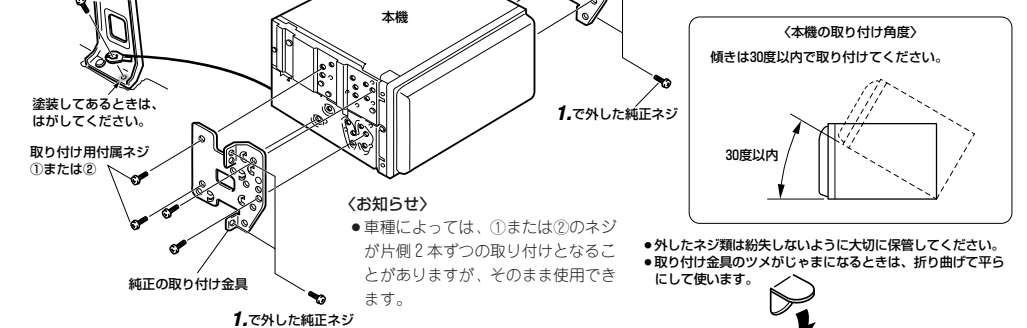
2. 本機に純正の取り付け金具を取り付ける

3. 接続する(裏面を参照)

イラストはトヨタ車の一例です。詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

アース線を車体の金属部分に確実に接続してください。

※車の金属部分についているネジを使用してください。



塗装してあるときは、はがしてください。

取り付け用付属ネジ ①または②

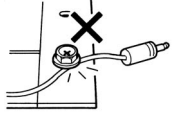
純正の取り付け金具

〈お知らせ〉

・車種によっては、①または②のネジが片側2本ずつの取り付けとなりますが、そのまま使用できます。

1. で外した純正ネジ

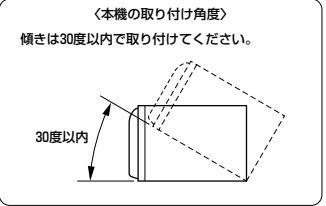
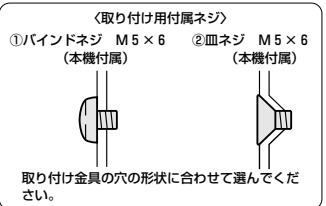
・ネジやナットを締めるとき、他の配線をはさみ込まないようにご注意ください。



・取り付けが困難な場合はお買い上げの販売店にご相談ください。
・車種によっては、コンソールボックスなどに取り付けるとき、取り付けキット(別売り)を必要とすることがあります。この場合の取り付け方は、取り付けキットの説明書をご覧ください。
なお、インコンソールに取り付けができない車種もありますので、お求めの際、ご自分の車種・年式に適合するかお買い上げの販売店でお確かめください。

ご注意

・取り付け金具(車のブラケット)を本機に取り付ける際は、必ず付属のネジ(長さ6mm)をお使いください。6mm以上のネジを使用しますと故障の原因になります。
・本機を取り付けるときは、水平な場所を選びパーキングブレーキをかけ、エンジンキーを「OFF」にしてから行なってください。
・本機は、DC12V マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。
・配線をするときは、車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電流容量オーバーにより火災の原因となります。



・外したネジ類は紛失しないよう大切に保管してください。
・取り付け金具のツメがじゃまになるときは、折り曲げて平らにして使います。



接続のしかた —必ずお読みください。—

基本の接続 — 4スピーカーシステムの接続例 —

・車種によってはプラグ形状が異なります。このようなときは、JASO仕様のプラグに変換してお使いください。

カーアンテナより

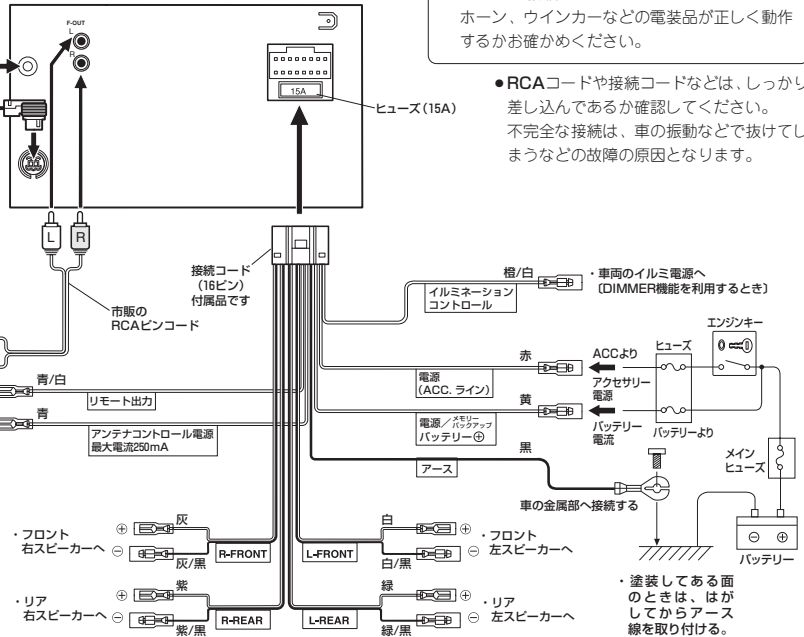
JVCのCDチェンジャーより
DINコード (CDチェンジャーに付属)

・パワーアンプまたはサブウーハーへ

・アンテナコントロール端子またはアンテナプースター端子へ

〈お知らせ〉

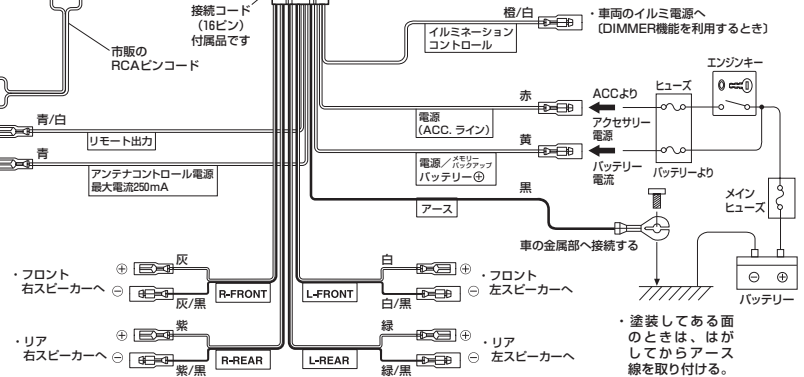
●本機の接続コードの色は、車側の交換ハーネスの色とは異なる場合があります。よく確かめてから接続してください。



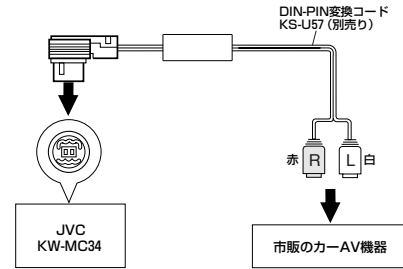
接続が終わったら

●外しておいたバッテリーの端子のコードを元のように接続し、ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカーなどの電装品が正しく動作するか確かめください。

●RCAコードや接続コードなどは、しっかり差し込んであるか確認してください。不完全な接続は、車の振動などで抜けてしまうなどの故障の原因となります。



●CDチェンジャー端子に市販のカーAV機器を接続する



●この場合、CD-CHのソース(音源)をLINE INPUT用に切換える操作が必要です。詳しくは取扱説明書の④ページ「CD-CHのソース(音源)を変える」をご覧ください。

〈お知らせ〉

●アンテナコントロール電源の接続について

電動アンテナ装備車またはアンテナプースター装備車の場合、車両側のアンテナコントロール端子と本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)を接続してください。また、一部の車種によってはアンテナ線からアンテナコントロール端子が出ていることがあります。本機の「アンテナコントロール電源」コード(青)をこの端子に接続してください。

●車種(純正アンプ・アンテナプースター付きの車両)によっては、ラジオ以外のソース(音源)に切換えると音が出ないことがあります。

このようなときは、本機の「リモート出力」コード(青/白)を車両側の純正アンプ・アンテナプースター端子に接続してください。

●ダイバーシティアンテナ装備車に取り付ける場合

カーアンテナの太いプラグの方(メイン側)のみを本機に接続してください。

●ライン出力端子について

F-OUT端子はフロント出力です。白い端子がL(左)音声出力端子、赤い端子がR(右)音声出力端子です。

●接続したスピーカーの許容入力(ワット)が45Wより小さいときは

AMP GAINを「HIGH PWR」⇒「LOW PWR」に切換えると、本機の最大出力を30Wに制限することができます。詳しくは、取扱説明書の④ページ「アンプの最大出力を切換える」をご覧ください。

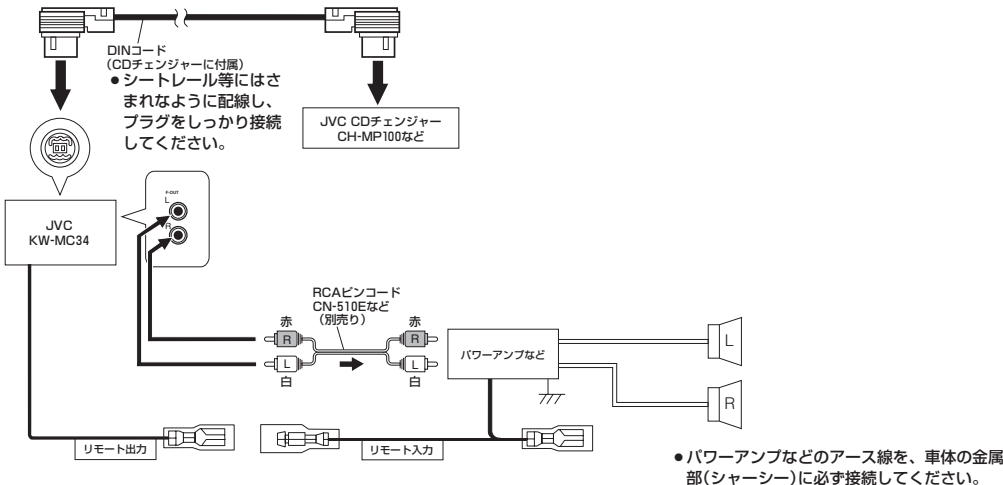
●接続が終わったあとの動作確認について

まず車のエンジンをかけてから、本機の電源を入れてください。そのあと正しく動作するか確かめください。エンジンキーが「OFF」または「ACC OFF」の状態では電源を入れることができません(⇒取扱説明書④ページ参照)。それでも正しく動作しないときは、取扱説明書④～⑤ページの「故障かな?と思う前に」をご覧ください。になり故障かどうかお調べください。

システムアップする場合 —取り付けが終わったら各機器で、リセットの操作をしてください。—

●外部機器との接続

※外部機器の取扱説明書も併せてご覧ください。



●パワーアンプなどのアース線を、車体の金属部(シャーシー)に必ず接続してください。